

健全化比率DB (富士見市)

『健全化比率DB』は、健全化比率の基礎データからの分析、他団体との比較、独自比率の算定などができる、市区町村財政分析データベースです。

「*」印は、財政統計研究所の算定データです。

資料作成/財政統計研究所		データ年度 選択団体名	2007(H19)年 富士見市	2008(H20)年 富士見市	2009(H21)年 富士見市	2010(H22)年 富士見市	2011(H23)年 富士見市
健全化判断比率一覧	1-001	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-)	3.86	6.33			
	1-002	実質赤字比率 *	4.07	6.65			
	1-003	早期健全化基準(11.25~15%)	-12.58	-12.57			
	1-004	(参考)公営比率 *	12.53	13.88			
	1-005	補正公営会計連結黒字比率(+) 又は 補正公営会計連結赤字比率(-)	13.21	14.57			
	1-006	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-)	16.39	20.21			
	1-007	連結実質赤字比率 *	17.28	21.22			
	1-008	早期健全化基準(16.25~20%)	-17.58	-17.57			
	1-009	実質公債費比率(3ヵ年平均)	8.25	8.37			
	1-010	実質公債費比率 *	7.21	11.13			
	1-011	単年度実質公債費比率(本年度)	7.66	11.78			
	1-012	将来負担比率	55.5	59.5			
	1-013	将来負担比率 *	59.0	63.0			
	1-014	修正将来負担比	36.6	36.1			
	1-015	修正修正将来負担比率	38.9	38.3			
	1-016	参考資料 *	5.19	4.79			
	1-017	臨時財政対策債発行可能額(本年度)/標準財政規模(本年度)	13.23	13.64			
	1-018	元利償還金等に係る基準財政需要額算入額(本年度)/標準財政規模(本年度)	0.93	10.20			
	1-019	標準財政規模増減率(5年) (本年度/5年前)	-4.31	4.92			
	1-020	補正標準財政規模増減率(5年) (本年度/5年前)	1.03	0.84			
	1-021	人口増減率(5 (本年度/3.31住基人口/5年前/3.31住基人口)	1.45	1.45			
	1-022	人口増減率(5 (国調人口/前回・国調人口)	都市Ⅲ-3	都市Ⅲ-3			
	1-023	市町村類型等 (前年度市町村類型等)					
	1-024	財政統計研究所 *	3.85	6.32			
	1-025	(切捨処理後の比率)	16.38	20.20			
	1-026	実質公債費比率(3ヵ年平均)	8.2	8.3			
	1-027	将来負担比率	55.4	59.5			
	1-028	総務省 公表比率	-	-			
	1-029	実質赤字比率	-	-			
	1-030	連結実質赤字	-	-			
		8.2	8.3				
		55.4	59.5				
実質赤字比率	2-031	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	切捨て	3.85	6.32		
	2-032	実質赤字比率(総務省)	切捨て	-	-		
	2-033	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	四捨五入	3.86	6.33		
	2-034	補正実質黒字比率(+) 又は 補正実質赤字比率(-) *	四捨五入	4.07	6.65		
	2-035	早期健全化基準(11.25~15%)		-12.58	-12.57		
	2-036	実質赤字額又は黒字額 (一が赤字) A (本年度分)		702,082	1,169,575		
	2-037	標準財政規模(臨時財政対策債発行可) B=C+D (本年度分)		18,208,713	18,481,015		
	2-038	標準財政規模(臨時財政対策債発行可) C (本年度分)		17,264,579	17,596,692		
	2-039	臨時財政対策債発行可能額 D (本年度分)		944,134	884,323		
	2-040	実質赤字比率の算定に用いた、一般	一般会計等1	会計名	一般会計	一般会計	
2-041	会計等の会計名と実質収支額 (1~	一般会計等1	実質収支額	610,370	977,240		

2-042	16) 実質赤字比率=A/B*100が負数の場合における、A/B*100の絶対値	一般会計等2	会計名	鶴瀬駅西口土地	鶴瀬駅西口土地	区画整理事業特別会計		
2-043		一般会計等2	実質収支額	91,130	137,348			
2-044		一般会計等3	会計名	鶴瀬駅東口土地	鶴瀬駅東口土地	区画整理事業特別会計		
2-045		一般会計等3	実質収支額	582	54,987			
2-046		一般会計等4	会計名					
2-047		一般会計等4	実質収支額					
2-048		一般会計等5	会計名					
2-049		一般会計等5	実質収支額					
2-050		一般会計等6	会計名					
2-051		一般会計等6	実質収支額					
2-052		一般会計等7	会計名					
2-053		一般会計等7	実質収支額					
2-054		一般会計等8	会計名					
2-055		一般会計等8	実質収支額					
2-056		一般会計等9	会計名					
2-057		一般会計等9	実質収支額					
2-058		一般会計等10	会計名					
2-059		一般会計等10	実質収支額					
2-060		一般会計等11	会計名					
2-061		一般会計等11	実質収支額					
2-062		一般会計等12	会計名					
2-063	一般会計等12	実質収支額						
2-064	一般会計等13	会計名						
2-065	一般会計等13	実質収支額						
2-066	一般会計等14	会計名						
2-067	一般会計等14	実質収支額						
2-068	一般会計等15	会計名						
2-069	一般会計等15	実質収支額						
2-070	一般会計等16	会計名						
2-071	一般会計等16	実質収支額						
2-072		A	一般会計等	合計(1~16)	702,082	1,169,575		
連結実質赤字比率	3-073	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-) *		切捨て	16.38	20.20		
	3-074	連結実質赤字比率(総務省)		切捨て	-	-		
	3-075	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-) *		四捨五入	16.39	20.21		
	3-076	補正連結実質黒字比率(+) 又は 補正連結実質赤字比率(-) *		四捨五入	17.28	21.22		
	3-077	早期健全化基準(16.25~20%)			-17.58	-17.57		
	3-078	公営会計連結黒字比率(+) 又は 公営会計連結赤字比率(-) *		四捨五入	12.53	13.88		
	3-079	補正公営会計連結黒字比率(+) 又は 補正公営会計連結赤字比率(-) *		四捨五入	13.21	14.57		
	3-080	連結実質赤字額又は黒字額 (一が赤字)	A	(本年度分)	2,983,524	3,734,178		
	3-081	標準財政規模(臨時財政対策債発行)	B=C+D	(本年度分)	18,208,713	18,481,015		
	3-082	標準財政規模(臨時財政対策債発行)	C	(本年度分)	17,264,579	17,596,692		
	3-083	臨時財政対策債発行可能額	D	(本年度分)	944,134	884,323		
	3-084	連結実質赤字比率の	1	一般会計等	合計	702,082	1,169,575	
	3-085	算定に用いた、会計	2	公営事業1	事業区分	①	①	
	3-086	名と実質収支額また	3	公営事業1	会計名	国民健康保険事	国民健康保険特別会計(事業勘定)	
	3-087	は資金不足・剰余額	4	公営事業1	実質収支額	155,617	268,864	
	3-088	(1~116) 連結実	5	公営事業2	事業区分	②	②	
3-089	質赤字比率	6	公営事業2	会計名	介護保険事業	介護保険特別会計		
3-090	=A/B*100が負数の	7	公営事業2	実質収支額	56,852	127,052		
3-091	場合における、	8	公営事業3	事業区分	⑤	③		
3-092	A/B*100の絶対値	9	公営事業3	会計名	老人保健医療事	後期高齢者医療事業特別会計		

3-093	10	公営事業3	実質収支額	2	3,833		
3-094	11	公営事業4	事業区分	0	⑤		
3-095	12	公営事業4	会計名			老人保健特別会計	
3-096	13	公営事業4	実質収支額		140,254		
3-097	14	公営事業5	事業区分	0	0		
3-098	15	公営事業5	会計名				
3-099	16	公営事業5	実質収支額				
3-100	17	公営事業6	事業区分	0	0		
3-101	18	公営事業6	会計名				
3-102	19	公営事業6	実質収支額				
3-103	20	公営事業7	事業区分	0	0		
3-104	21	公営事業7	会計名				
3-105	22	公営事業7	実質収支額				
3-106	23	公営事業8	事業区分	0	0		
3-107	24	公営事業8	会計名				
3-108	25	公営事業8	実質収支額				
3-109	26	公営事業9	事業区分	0	0		
3-110	27	公営事業9	会計名				
3-111	28	公営事業9	実質収支額				
3-112	29	公営事業10	事業区分	0	0		
3-113	30	公営事業10	会計名				
3-114	31	公営事業10	実質収支額				
3-115	32	公営事業11	事業区分	0	0		
3-116	33	公営事業11	会計名				
3-117	34	公営事業11	実質収支額				
3-118	35	公営事業12	事業区分	0	0		
3-119	36	公営事業12	会計名				
3-120	37	公営事業12	実質収支額				
3-121	38	公営事業13	事業区分	0	0		
3-122	39	公営事業13	会計名				
3-123	40	公営事業13	実質収支額				
3-124	41	法適1	会計名	水道事業会計	水道事業会計		
3-125	42	法適1	資金不足・剰余額	1,854,755	1,847,802		
3-126	43	法適2	会計名	下水道事業会計	下水道事業会計		
3-127	44	法適2	資金不足・剰余額	214,216	176,798		
3-128	45	法適3	会計名	0	0		
3-129	46	法適3	資金不足・剰余額	0	0		
3-130	47	法適4	会計名	0	0		
3-131	48	法適4	資金不足・剰余額	0	0		
3-132	49	法適5	会計名	0	0		
3-133	50	法適5	資金不足・剰余額	0	0		
3-134	51	法適6	会計名	0	0		
3-135	52	法適6	資金不足・剰余額	0	0		
3-136	53	法適7	会計名	0	0		
3-137	54	法適7	資金不足・剰余額	0	0		
3-138	55	法適8	会計名	0	0		
3-139	56	法適8	資金不足・剰余額	0	0		
3-140	57	法適9	会計名	0	0		
3-141	58	法適9	資金不足・剰余額	0	0		
3-142	59	法適10	会計名	0	0		
3-143	60	法適10	資金不足・剰余額	0	0		

3-144	61	法適11	會計名	0	0		
3-145	62	法適11	資金不足・剰余額	0	0		
3-146	63	法適12	會計名	0	0		
3-147	64	法適12	資金不足・剰余額	0	0		
3-148	65	法適13	會計名	0	0		
3-149	66	法適13	資金不足・剰余額	0	0		
3-150	67	法適14	會計名	0	0		
3-151	68	法適14	資金不足・剰余額	0	0		
3-152	69	法適15	會計名	0	0		
3-153	70	法適15	資金不足・剰余額	0	0		
3-154	71	法適16	會計名	0	0		
3-155	72	法適16	資金不足・剰余額	0	0		
3-156	73	法適17	會計名	0	0		
3-157	74	法適17	資金不足・剰余額	0	0		
3-158	75	法適18	會計名	0	0		
3-159	76	法適18	資金不足・剰余額	0	0		
3-160	77	法適19	會計名	0	0		
3-161	78	法適19	資金不足・剰余額	0	0		
3-162	79	法非適1	會計名	0	0		
3-163	80	法非適1	資金不足・剰余額	0	0		
3-164	81	法非適2	會計名	0	0		
3-165	82	法非適2	資金不足・剰余額	0	0		
3-166	83	法非適3	會計名	0	0		
3-167	84	法非適3	資金不足・剰余額	0	0		
3-168	85	法非適4	會計名	0	0		
3-169	86	法非適4	資金不足・剰余額	0	0		
3-170	87	法非適5	會計名	0	0		
3-171	88	法非適5	資金不足・剰余額	0	0		
3-172	89	法非適6	會計名	0	0		
3-173	90	法非適6	資金不足・剰余額	0	0		
3-174	91	法非適7	會計名	0	0		
3-175	92	法非適7	資金不足・剰余額	0	0		
3-176	93	法非適8	會計名	0	0		
3-177	94	法非適8	資金不足・剰余額	0	0		
3-178	95	法非適9	會計名	0	0		
3-179	96	法非適9	資金不足・剰余額	0	0		
3-180	97	法非適10	會計名	0	0		
3-181	98	法非適10	資金不足・剰余額	0	0		
3-182	99	法非適11	會計名	0	0		
3-183	100	法非適11	資金不足・剰余額	0	0		
3-184	101	法非適12	會計名	0	0		
3-185	102	法非適12	資金不足・剰余額	0	0		
3-186	103	法非適13	會計名	0	0		
3-187	104	法非適13	資金不足・剰余額	0	0		
3-188	105	法非適14	會計名	0	0		
3-189	106	法非適14	資金不足・剰余額	0	0		
3-190	107	法非適15	會計名	0	0		
3-191	108	法非適15	資金不足・剰余額	0	0		
3-192	109	法非適16	會計名	0	0		
3-193	110	法非適16	資金不足・剰余額	0	0		
3-194	111	法非適17	會計名	0	0		

3-195		112	法非適17	資金不足・剰余額	0	0		
3-196		113	法非適18	会計名	0	0		
3-197		114	法非適18	資金不足・剰余額	0	0		
3-198		115	法非適19	会計名	0	0		
3-199		116	法非適19	資金不足・剰余額	0	0		
3-200		A	連結黒字赤字額	合計(1~116)	2,983,524	3,734,178		
4-201	実質公債費比率*	四捨五入	(3カ年平均)	8.24540	8.36788			
4-202	実質公債費比率(総務省)	切捨て	(3カ年平均)	8.2	8.3			
4-203	実質公債費比率1*	四捨五入	(前々年度分)	10.76166	6.76773			
4-204	実質公債費比率2*	四捨五入	(前年度分)	6.76773	7.20683			
4-205	実質公債費比率3*	四捨五入	(本年度分)	7.20683	11.12908			
4-206	補正単年度実質公債費比率*		(本年度分)	7.66484	11.78190			
4-207	実質公債費負担額1	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)	(前々年度分)	1,713,650	1,079,472			
4-208	実質公債費負担額2	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)	(前年度分)	1,079,472	1,138,677			
4-209	実質公債費負担額3	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)	(本年度分)	1,138,677	1,776,211			
4-210	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰	(前々年度分)	18,244,138	18,282,646			
4-211	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰	(前々年度分)	17,073,751	17,241,966			
4-212	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰	(前々年度分)	1,170,387	1,040,680			
4-213	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯	(前々年度分)	2,320,472	2,332,365			
4-214	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰	(前年度分)	18,282,646	18,208,713			
4-215	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰	(前年度分)	17,241,966	17,264,579			
4-216	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰	(前年度分)	1,040,680	944,134			
4-217	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯	(前年度分)	2,332,365	2,408,740			
4-218	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰	(本年度分)	18,208,713	18,481,015			
4-219	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰	(本年度分)	17,264,579	17,596,692			
4-220	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰	(本年度分)	944,134	884,323			
4-221	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯	(本年度分)	2,408,740	2,520,929			
4-222	前々年度分の実質公債費比率の算定に用いた、実質公債費負担額等の算出に係る基礎数値	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	(前々年度分)	2,742,439	2,333,032			
4-223		② 積立不足額を考慮して算定した額	(前々年度分)					
4-224		③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償還額	(前々年度分)	0	0			
4-225		④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還額	(前々年度分)	852,637	710,930			
4-226		⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた額	(前々年度分)	325,072	350,371			
4-227		⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	(前々年度分)	113,974	17,504			
4-228		⑦ 一時借入金の利子	(前々年度分)	0	0			
4-229		⑧ 特定財源の額	(前々年度分)					
4-230		⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	957,000	927,137			
4-231		⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	79,025	83,760			
4-232		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額	(前々年度分)	516,959	625,991			
4-233		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元金)	(前々年度分)	765,771	692,988			
4-234		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	1,717	2,489			
4-235		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入された額	(前々年度分)	0	0			
4-236		⑮ 標準税収入額等	(前々年度分)	13,367,171	14,130,474			
4-237		⑯ 普通交付税額	(前々年度分)	3,706,580	3,111,492			
4-238		⑰ 臨時財政対策債発行可能額	(前々年度分)	1,170,387	1,040,680			
4-239		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方債	(前々年度分)	0	0			
4-240		⑥の内訳	PFI事業に係る債務負担行為に係るもの	(前々年度分)	0	0		
4-241			いわゆる五省協定等により、利	(前々年度分)	0	0		
4-242			国営土地改良事業並びに独立	(前々年度分)	0	0		
4-243			地方公務員等共済組合が建設	(前々年度分)	0	0		
4-244			社会福祉法人が施設の建設の	(前々年度分)	18,019	17,504		
4-245			損失補償又は保証に係る債務	(前々年度分)	0	0		

4-246		地方公共団体以外の者の債務(前々年度分)		0		
4-247		その他これらに準ずると認めら(前々年度分)	95,955	0		
4-248		利子補給に係るもの(前々年度分)	0	0		
4-249	前年度分の実質公債	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)(前年度分)	2,333,032	2,508,500		
4-250	費比率の算定に用い	② 積立不足額を考慮して算定した額(前年度分)				
4-251	た、実質公債費負担	③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償(前年度分)	0	0		
4-252	額等の算出に係る基	④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債(前年度分)	710,930	686,343		
4-253	礎数値 前年度分	⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた(前年度分)	350,371	335,585		
4-254	実質公債費比率	⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの(前年度分)	17,504	16,989		
4-255	=A/(B-E)*100=[(①	⑦ 一時借入金の利子(前年度分)	0	0		
4-256	~⑦)-(⑧~⑭・⑱)]/	⑧ 特定財源の額(前年度分)				
4-257	[(⑮~⑰)-(⑨~⑭・	⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	927,137	857,088		
4-258	⑱)]*100	⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	83,760	79,508		
4-259		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(前年度分)	625,991	785,307		
4-260		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元利(前年度分)	692,988	684,019		
4-261		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	2,489	2,818		
4-262		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	0	0		
4-263		⑮ 標準税収入額等(前年度分)	14,130,474	14,432,701		
4-264		⑯ 普通交付税額(前年度分)	3,111,492	2,831,878		
4-265		⑰ 臨時財政対策債発行可能額(前年度分)	1,040,680	944,134		
4-266		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方(前年度分)	0	0		
4-267		⑥の内訳				
4-268		PFI事業に係る債務負担行為に係るもの(前年度分)	0	0		
4-269		いわゆる五省協定等により、利(前年度分)	0	0		
4-270		国営土地改良事業並びに独立(前年度分)	0	0		
4-271		地方公務員等共済組合が建設(前年度分)	0	0		
4-272		社会福祉法人が施設の建設の(前年度分)	17,504	16,989		
4-273		損失補償又は保証に係る債務(前年度分)		0		
4-274		地方公共団体以外の者の債務(前年度分)		0		
4-275		その他これらに準ずると認めら(前年度分)	0	0		
4-275		利子補給に係るもの(前年度分)	0	0		
4-276	本年度分の実質公債	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)(本年度分)	2,508,500	2,701,659		
4-277	費比率の算定に用い	② 積立不足額を考慮して算定した額(本年度分)				
4-278	た、実質公債費負担	③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償(本年度分)	0	0		
4-279	額等の算出に係る基	④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債(本年度分)	686,343	767,408		
4-280	礎数値 本年度分	⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた(本年度分)	335,585	389,144		
4-281	実質公債費比率	⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの(本年度分)	16,989	438,929		
4-282	=A/(B-E)*100=[(①	⑦ 一時借入金の利子(本年度分)	0	0		
4-283	~⑦)-(⑧~⑭・⑱)]/	⑧ 特定財源の額(本年度分)				
4-284	[(⑮~⑰)-(⑨~⑭・	⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	857,088	806,227		
4-285	⑱)]*100	⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	79,508	75,416		
4-286		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(本年度分)	785,307	907,669		
4-287		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元利(本年度分)	684,019	728,799		
4-288		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	2,818	2,818		
4-289		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	0	0		
4-290		⑮ 標準税収入額等(本年度分)	14,432,701	14,688,333		
4-291		⑯ 普通交付税額(本年度分)	2,831,878	2,908,359		
4-292		⑰ 臨時財政対策債発行可能額(本年度分)	944,134	884,323		
4-293		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方(本年度分)	0	0		
4-294		⑥の内訳				
4-295		PFI事業に係る債務負担行為に係るもの(本年度分)	0	371,487		
4-296		いわゆる五省協定等により、利(本年度分)	0	0		
4-296		国営土地改良事業並びに独立(本年度分)	0	0		

	4-297		地方公務員等共済組合が建設	(本年度分)	0	0			
	4-298		社会福祉法人が施設の建設の	(本年度分)	16,989	16,473			
	4-299		損失補償又は保証に係る債務	(本年度分)		50,969			
	4-300		地方公共団体以外の者の債務	(本年度分)		0			
	4-301		その他これらに準ずると認めら	(本年度分)	0	0			
	4-302		利子補給に係るもの	(本年度分)	0	0			
将来負担比率	5-303	将来負担比率*	早期健全化基準(市町村350%政令市400%)	四捨五入	55.470	59.543			
	5-304	将来負担比率(総務省)		切捨て	55.4	59.5			
	5-305	補正将来負担比率*		四捨五入	58.996	63.036			
	5-306	修正将来負担比率*(連結実質黒字額を黒字要素として算定)		四捨五入	36.587	36.146			
	5-307	補正修正将来負担比率*		四捨五入	38.913	38.266			
	5-308	将来負担額	A	(本年度分)	44,576,024	42,601,106			
	5-309	充当可能財源等	B	(本年度分)	35,811,708	33,097,965			
	5-310	将来負担額(将来負担額から充当可能)	A-B	(本年度分)	8,764,316	9,503,141			
	5-311	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=E+F	(本年度分)	18,208,713	18,481,015			
	5-312	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	E	(本年度分)	17,264,579	17,596,692			
	5-313	臨時財政対策債発行可能額	F	(本年度分)	944,134	884,323			
	5-314	元利償還等に係る基準財政需要額算	D(=実質公債費比率の⑨~⑭・⑰)	(本年度分)	2,408,740	2,520,929			
	5-315	標準財政規模から元利償還等に係る	C-D	(本年度分)	15,799,973	15,960,086			
	5-316	将来負担比率の算定	将来負担額	地方債の現在高		27,375,823	26,401,532		
	5-317	に用いた、将来負担		債務負担行為に基づく支出予定額		3,086,396	3,177,554		
	5-318	額等の算出に係る基		公営企業債等繰入見込額		6,540,521	6,022,488		
	5-319	礎数値	将来負担	組合等負担等見込額		2,381,010	2,008,980		
	5-320	比率=[A-B]/[C-D]		退職手当負担見込額		5,189,347	4,990,260		
	5-321	*100		設立法人の負債額等負担見込額	計	2,927	292		
	5-322			地方道路公社		0	0		
	5-323			土地開発公社		0	0		
	5-324			第三セクター等		2,927	292		
	5-325			連結実質赤字額		0	0		
	5-326			組合等連結実質赤字額負担見込額		0	0		
	5-327		充当可能財源	充当可能基金		3,591,256	3,371,875		
	5-328		等	充当可能特定歳入	計	7,755,109	5,872,877		
	5-329				うち都市計画税	7,755,109	5,722,877		
	5-330			基準財政需要額算入見込額		24,465,343	23,853,213		
	5-331		A	将来負担額	合計	44,576,024	42,601,106		
	5-332		B	充当可能財源等	合計	35,811,708	33,097,965		
	5-333		A-B	将来負担比率算定の分子の額	合計	8,764,316	9,503,141		
	5-334		D	算入公債費等の額	合計	2,408,740	2,520,929		
	5-335		C-D	将来負担比率算定の分母の額	合計	15,799,973	15,960,086		
	参考比率	6-336		実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-)		3.85	6.32		
		6-337	財政統計研究所*	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-)		16.38	20.20		
6-338		(切捨処理後の比率)	実質公債費比率(3ヵ年平均)		8.2	8.3			
6-339			将来負担比率		55.4	59.5			
6-340			実質赤字比率	-	-				
6-341		総務省 公表比率	連結実質赤字比率	-	-				
6-342			実質公債費比率(3ヵ年平均)		8.2	8.3			
6-343			将来負担比率		55.4	59.5			
6-344		参考比率分母(1)*	実質黒字額又は赤字額/歳入総額		2.77	4.19			
6-345		⇒ 歳入総額	連結実質黒字額又は赤字額/歳入総額		11.76	13.37			
6-346		実質公債費負担額/歳入総額		4.49	6.36				
6-347		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/歳入総額		34.53	34.03				

6-348	参考比率分母(2)*	実質黒字額又は赤字額/歳入一般財源等	3.47	5.60		
6-349	⇒ 歳入一般財源等	連結実質黒字額又は赤字額/歳入一般財源等	14.75	17.89		
6-350		実質公債費負担額/歳入一般財源等	5.63	8.51		
6-351		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/歳入一般財源等	43.34	45.53		
6-352	参考比率分母(3)*	実質黒字額又は赤字額/基準財政需要額	5.04	8.26		
6-353	⇒ 基準財政需要額	連結実質黒字額又は赤字額/基準財政需要額	21.40	26.36		
6-354		実質公債費負担額/基準財政需要額	8.17	12.54		
6-355		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/基準財政需要額	62.86	67.09		
6-356	参考比率分母(4)*	実質黒字額又は赤字額/基準財政収入額	6.33	10.33		
6-357	⇒ 基準財政収入額	連結実質黒字額又は赤字額/基準財政収入額	26.91	32.98		
6-358		実質公債費負担額/基準財政収入額	10.27	15.69		
6-359		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/基準財政収入額	79.05	83.92		
6-360	参考比率分母(5)*	実質黒字額又は赤字額/住民基本台帳人口	6.75	11.20		
6-361	⇒ 住民基本台帳人口	連結実質黒字額又は赤字額/住民基本台帳人口	28.67	35.77		
6-362		実質公債費負担額/住民基本台帳人口	10.94	17.02		
6-363		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/住民基本台帳人口	84.22	91.04		
6-364	健全化比率分子	実質黒字額又は赤字額	702,082	1,169,575		
6-365		連結実質黒字額又は赤字額	2,983,524	3,734,178		
6-366		実質公債費負担額	1,138,677	1,776,211		
6-367		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)	8,764,316	9,503,141		
6-368	参考比率分母	(1)歳入総額	25,380,047	27,926,591		
6-369		(2)歳入一般財源等	20,222,642	20,871,129		
6-370		(3)基準財政需要額	13,943,224	14,164,409		
6-371		(4)基準財政収入額	11,087,500	11,323,821		
6-372		(5)住民基本台帳人口(2012(H24)年度より外国人人口を含む)	104,063	104,386		
対前年増減	7-373 実質赤字比率	実質黒字比率又は実質赤字比率		2.47		
	7-374 対前年増減*	補正実質黒字比率又は補正実質赤字比率		2.58		
	7-375	早期健全化基準		0.01		
	7-376 (参考)公営比率	公営会計連結黒字比率又は公営会計連結赤字比率		1.35		
	7-377 対前年増減*	補正公営会計連結黒字比率又は補正公営会計連結赤字比率		1.36		
	7-378 連結実質赤字比率	連結実質黒字比率又は連結実質赤字比率		3.82		
	7-379 対前年増減*	補正連結実質黒字比率又は補正連結実質赤字比率		3.94		
	7-380	早期健全化基準		0.01		
	7-381 実質公債費比率	実質公債費比率(3年平均)		0.12		
	7-382 対前年増減*	単年度実質公債費比率		3.92		
	7-383	補正単年度実質公債費比率		4.12		
	7-384 将来負担比率	将来負担比率		4.07		
	7-385 対前年増減*	補正将来負担比率		4.04		
	7-386	修正将来負担比		-0.44		
	7-387	補正修正将来負担比率		-0.65		
	7-388 健全化比率分子	実質黒字額又は赤字額		467,493		
	7-389 対前年増減*	連結実質黒字額又は赤字額		750,654		
	7-390	実質公債費負担額		637,534		
	7-391	将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)		738,825		
	7-392 健全化比率分母	標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む)		272,302		
	7-393 対前年増減*	標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を除く)		332,113		
	7-394	臨時財政対策債発行可能額		-59,811		
	7-395 参考比率分母	歳入総額		2,546,544		
	7-396 対前年増減*	歳入一般財源等		648,487		
	7-397	基準財政需要額		221,185		
	7-398	基準財政収入額		236,321		

団体指定・健全化比率DB

富士見市・2007年～2012年・連結会計決算

サンプル・一部表示 / 財政統計研究所

財政統計資料館
<http://zaisei.net/>